

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 飛騨センター設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2459)

E-mail： c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 153,272 千円 (前年度予算額： 242,774 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	242,774	0	0	0	0	0	0	218,400	24,374
要求額	153,272	0	0	0	0	0	0	0	153,272
決定額	89,535	0	0	0	0	0	0	80,500	9,035

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・冷水生成を行う空調用熱源機器である空冷チラーは、設置から20年が経過しており、点検の中で劣化症状が確認されている。施設内の温度及び湿度を管理するために必要な設備であり、館内の空調を適切に維持するために、更新する必要がある。
- ・常に室温管理が必要な場所にある個別空調は、設置から20年が経過していることから、部品交換による修繕が困難となっている。照明・音響設備、サーバー室に設置されており、故障した場合は施設運営に多大な支障を来すことになるため、更新が必要である。
- ・施設4棟の2階部分を結ぶふれあい広場の空中回廊は、経年劣化及び凍害により割れや剥離が広範囲で発生している。各棟の非常口ともつながる避難経路のため、損傷がある場合は利用者の安全を害する可能性があることから、修繕工事が必要である。
- ・ミュージアム棟は築20年が経過し、経年劣化及び凍害による漏水等が確認されている。漏水によるカビの発生があった場合は、展示物への被害等が予想されるため、修繕工事が必要である。

(2) 事業内容

- ・空調熱源機器の更新
- ・空調機器（個別空調）の更新
- ・ふれあい広場回廊床タイルの改修
- ・ミュージアム棟外壁の改修

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

県民ふれあい会館設備改修事業費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	153,272	・空調熱源機器の更新 ・空調機器（個別空調）の更新 ・ふれあい広場回廊床タイルの改修 ・ミュージアム棟外壁の改修
合計	153,272	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源には県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定。

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 空調熱源機器の更新、空調機器（個別空調）の更新、ふれあい広場回廊床タイルの改修、ミュージアム棟外壁の改修を実施し、安定的なセンター運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の管理に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 飛騨・世界生活文化センター加圧給水ポンプユニット更新工事 飛騨・世界生活文化センター中央監視リモート盤更新工事 飛騨・世界生活文化センター冷却塔更新工事 飛騨・世界生活文化センター音響設備（ワイヤレス設備）更新工事 飛騨・世界生活文化センター電話設備更新工事 飛騨・世界生活文化センター舞台設備（吊物設備）改修工事 飛騨・世界生活文化センター非常照明・操作用蓄電池更新工事 <p>施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。</p>
令和3年	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の 取り決めを行っている。 ・ 施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・ 施設の修繕及び備品の負担区分については、 修繕：60万円以上 備品：10万円以上 を県負担とする。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	計画的に修繕を実施することで、大規模な破損を防ぐことが出 来るため、利用者の利便性向上のほか、結果的にコストの削減に つながっている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 3	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の 聞き取り調査を行いながら、計画的に実施する。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化が進む中で、大規模改修が必要になってきている。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今 後どのように取り組むのか 設備の劣化状況を鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模改修に ついては財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。
--